

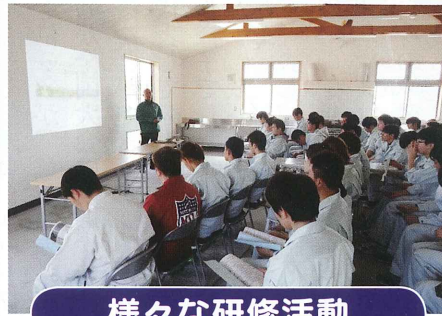
「農大この一年」～主な活動・イベント～



海外研修

2年生がアメリカ・コロラド州の広大な農場、農産加工場等の視察や、3泊4日のホームステイを体験しました。学生たちは言語や文化の違いに苦戦しながらも、現地の人々と積極的にコミュニケーションし、日本とは違う外国の農業と文化に直接触れることで、改めて自らの農業観について考えを深めました。

(9月1日～10日)



様々な研修活動

県内外の農業者や関連企業の方々と直接触れ合う研修を実施しました。県内各地の農家や企業に赴く「先進農業者体験学習」、県外の先進的な農業経営者の視察を行う「先進経営者研究」、学科ごとにテーマを持って実施する「県外研修」等の活動を通じ、先進技術、経営力、マーケティング感覚の習得に励みました。

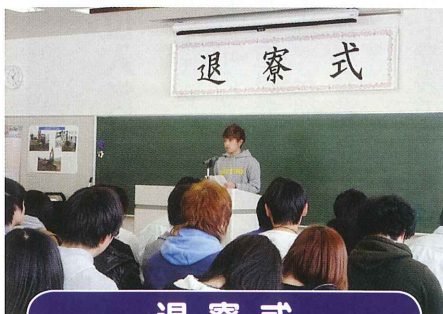
(4月23日ほか)



販売実習

今年度は農大市場を6回開催し、消費者への直接販売を行いました。また、県農林水産祭やキトキトマルシェ等の校外で開催されたイベントや首都圏の販売店に出向き、より多くの消費者へ自ら手がけた農産物や加工品の販売を積極的にを行い、企画力・販売力の強化に努めました。

(7月4日ほか)



退寮式

寮生活を終えて退寮する2年生を代表して野菜経営学科2年の森谷匠前学生会長が、共に生活した後輩や仲間へ感謝の言葉を述べた後、お世話になった舎監の先生と食堂の方に花束を贈りました。式後に各種の表彰を行いました。2年生は3月4日の卒業式の後、それぞれの道へ旅立ちます。

(2月19日)



卒業論文発表会

この1年間取り組んだ各自の研究の成果について発表しました。新たな品目や品種、技術を取り入れた経営の発展・強化、伝統野菜等の安定生産技術、消費者ニーズを捉えた安全安心の栽培や6次産業化の取組みなどの多彩な内容となりました。優秀な発表者が東日本大会に出場します。

(12月16～17日)



農大祭

『魅てけるな土から学んだ農産物(クリスタル)』をテーマに、学習成果の展示や農産物の販売に加え、YBCアナウンサーの相磯舞さんをゲストに迎え、「大キャベツコンテスト」、「農の夢語りコンサート」等のイベントを行いました。事前にラジオ出演のPRなどもあり、多くの来場者で賑わいました。

(11月3日)

農業大学校から農林大学校へ

「山形県立農業大学校」は、平成二十八年四月一日から、学校名を「山形県立農林大学校」に改称し、新たに「林業経営学科」を開講します。

山形県では、豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として生かし、林業振興と地域の活性化を図る「やまがた森林ノミクス」を推進しており、林業経営学科ではこの取組みを支える次世代リーダーを育成します。

現在、三月中の完了を目標に、校舎内の教室や機材保管庫、車庫、現場教室等の学校施設の改修工事を行っています。

また、講義や実習で使用する資機材の整備も順調に進んでおり、新一年生の入校が待ち遠しく思われます。



雨天実習場・機材保管庫(旧豚舎)